

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-83C	15-081	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Alcohol consumption and risk of breast cancer by molecular subtype: Prospective analysis of the nurses' health study after 26 years of follow-up.</p> <p>アルコール摂取と分子サブタイプ別乳がんリスク : Nurses' Health Study の 26 年間追跡調査の前向き分析</p>		
執筆者		
Hirko KA, Chen WY, Willett WC, Rosner BA, Hankinson SE, Beck AH, Tamimi RM, Eliassen AH.		
掲載誌		
Int J Cancer. 2016 Mar 1;138(5):1094-101. doi: 10.1002/ijc.29861.		
キーワード	PMID	
アルコール、乳がん、分子サブタイプ	26384849	
要 旨		
<p>目的：アルコール摂取は乳がんの一貫した危険因子である。乳がんの分子サブタイプによってアルコール摂取との関連が変わるかは不明であるため検討した。</p> <p>方法： Nurses' Health Study の参加者 105,972 人を対象として、1980 年から 2006 年まで追跡調査した。乳がんの分子サブタイプは、組織学的グレードとの組み合わせで免疫染色腫瘍マイクロアレイにより、エストロゲン受容体 (ER)、プロゲステロン受容体、ヒト上皮成長因子 2 (HER2)、サイトケラチン 5/6、および上皮成長因子の状況に応じて定義した。飲酒量は 1980 年から 2～4 年おきに、食物摂取頻度調査にて評価した。ハザード比 (HR) と 95%信頼区間 (CI) は多変量 Cox 比例ハザードモデルを用いて推定した。</p> <p>結果：競合リスク分析により、アルコールと乳がんのサブタイプの関連は不均一性の傾向を認めた (Heterogeneity test P=0.06)。飲酒者は、luminal A 型 [1628 症例、10g/日増加ごとに HR (95%CI) =1.10 (1.05-1.15)]および HER2 型[160 症例、HR (95%CI) =1.16 (1.02-1.33)] の乳がんリスクが増加した。しかし、luminal B 型 [631 症例、HR (95% CI) =1.08 (0.99-1.16)], basal-like 型[N=254 例、HR=0.90 (0.77-1.04)], 非分類[87 症例、HR (95%CI) =0.90 (0.71-1.14)]では、飲酒との関連を認めなかった。</p> <p>結論： 飲酒は、luminal A 型と HER2 型乳癌リスクに関連するが、他のサブタイプと関連していなかった。</p> <p>訳者注 Luminal 型(管腔上皮由来、ER 陽性)、typeA は比較的予後いい、typeB は増殖マーカー高値を示し悪性度は高い。HER2(HER2 陽性)は悪性度が高いが分子標的薬で予後が改善傾向。basal-like 型(ER 陰性、HER-2 陰性、プロゲステロン受容体陰性)は組織学的異形度が高く、悪性度が高い。</p>		